

1、今後のごみ処理について

(1) 今後、嵐山町の下記の種類のごみをどのような方法と場所で処理する計画か

ア、可燃ごみ、

イ、生ごみ

ウ、プラスチックごみ

エ、廃プラスチックごみ

オ、カン、金属類

カ、ビン、割れ物・ガラス

キ、ペットボトル、

ク、布・雑誌

ケ、乾電池、蛍光灯など

(2) 埼玉中部資源循環組合までの収集・運搬のあり方・概算経費を聞く

(3) 小川地区衛生組管内では、管内で処理を調査したその経過の報告はない。自区内処理を調査しなかった理由を聞く。

(4) 小川地区衛生組合構成自治体は滑川町を

除いて人口減少が明らかである。負担が増大することに対する具体的なことは何も決まっていないから答えられないというのが前回までの答弁だが、公の長・組合副管理者としては無責任である。業者丸投げになる。町で経費を概算した建設費・ランニングコスト・収集運搬費は。

(5) 小川地区衛生組合の存続せざるをえないが、小川地区衛生組合へのごみ処理負担金、中部資源循環組合への負担金の予測は

2、豪雨・豪雪の災害への対応について

(1) ゲリラ降雨にたいして、2年前の雪害時の市内の課題は町民や観光客への災害予防は生かされたか。

(2) 先日の台風では、川島地区も洪水に対しての避難準備地区となったが、市野川に接続する水路が市野川の流速が速く、市野川に水路の水が流入できないことが原因と推測できる。対策は。

(3) 都幾側・粕川・槻川において、河川と流入する2級河川の関係、危険区域となる可能性がある地区の対策は

(4) 住宅地において倒木などが予測される場所への対応は

(5) ゲリラ豪雨・豪雪に対し町内での観測についてどのような対応があるか

3、公共水域の水質について

- (1) 下水道区域で下水道に接続していない事業所・家庭への対応を聞く
- (2) 合併浄化槽区域で今後も合併浄化槽への変更が難しい世帯への対応は
- (3) 下水道と雨水管との誤接続の疑いがある地区は、川島川の上流地区にあるが、その対応の進捗を聞く。
- (4) 今後の誤接続の疑いのある地点の調査どのように行うか

4、B型肝炎ワクチンの定期接種化について

B型肝炎ワクチンは10月より定期接種となる。アメリカでの副反応調査で1088件の死亡例があり、893例が3歳児以下の子どもである。こどもがB型肝炎に罹患する割合は低く、又、キャリアの親から生まれたとしても出生直後の予防で感染を防げる。

国が、予防接種において製薬会社・医師の利益に伴う政策を構築するとき、医療の安全は確保できない。今後どう対応していくか

5、地方創生交付金事業で、対象事業にならなかった政策への対応

地方創生交付金事業への申請事業で国が対象としなかった事業は、嵐山町政策にどうに位置づけられていたのか

今後、町事業としての位置づけは

6、非正規公務員と正規公務員の在り方について

日本では同一賃金同一労働に関する条約に批准していないため、非正規公務員と公務員の職務に差がある。定数管理で財政管理するため、人件費の割合は不明である。同一労働同一賃金で非正規の職務を行う必要がある。考えを聞く。

7、公共下水道の不明水対策

町内の公共下水道の不明水の現状と対策を聞く

雨が上がるとカンカン照りで草だらけ・・・草取りをやる気になれなくて 困ったね